

平成28年度当初予算への要望

【地域要望】

平成27年8月18日

豊田市議会自民クラブ議員団

○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

【挙母地区】

1	継続	朝日丘	豊田東高跡地における歴史博物館整備計画の推進	県から用地を取得して以来、校舎等もそのまま放置されている。早期に土地利用をはかり、また歴史博物館建設の事業化を進めるべき。 仮称文化創造センターと併設で、博物館法に基づく仮称ふるさと歴史館を建設することが予定されているが、今後、基本構想策定、基本計画策定にあたっては、小坂区、樹木区、両区街づくり委員会、内藤学文公顕彰会そして挙母祭り保存会をはじめとする地元の意見や要望を十分に反映してほしい。【場所：小坂本町5丁目地内】
2	継続	朝日丘	街区公園の新規建設	自治区北部に公園がないため、住民に良い居住環境を整備していくことが必要。 仮に公園用地の所有者が土地を売却した場合、住宅が密集することが明白であり、二度とこの用地は取得できなくなる。災害時の一時避難所としての活用による安全安心を確保するためにも、早期に街区公園としての都市計画決定まで進め、早期に公園を建設してほしい。 【所在地は三軒町1丁目地内で旧市営三軒町住宅跡地に隣接する東側の農地と山林。所有者は1家族】
3	継続	朝日丘	毘森公園の再整備の推進	毘森公園の現状は、ホームレスがいることもあり治安が悪く、かつ地面に起伏があり樹木により見通しが悪いことから、特に母子が不安で利用しにくい。 中心市街地に所在する都市型公園として駅前再開発と合わせて駅西区域の整備として早急に整備すべき。 なお、計画策定にあたっては、公園用地内で小坂の住民によるボランティア団体が自主管理する近自然型の「小坂の郷」を整備・維持管理しており、地元小坂自治区の意見や要望を最大限、計画策定に反映してほしい。【小坂町1・2丁目】
4	継続	朝日丘	県道豊田東郷線の都市計画改良の事業化	県道豊田東郷線(都市計画東郷豊田)は交通量が多く中心市街地に接続する重要な幹線道路だが、歩道幅員が狭く歩行者や自転車の通行が危険な状態である。 現状は幅員約10mだが、幅員16mに改良する都市計画決定がされて以来、事業化が進んでいない。都市計画改良を早期に事業化していただきたい。 【区間：小坂町7丁目の三九朗病院交差点から小坂本町1丁目の富士火災交差点までの延長約300m】
5	継続	朝日丘	市道青木新生線の道路拡張	枝下用水～小坂若林線(市道青木線)約500m間は狭隘で、南部分は田畑で3～4m落差があり、対向車がある場合、待機を余儀なくされるとともに、歩道も設置されておらず、自転車・歩行者と車との接触事故、また車同士の事故により、南側田畑に転落などが発生している。この部分は北側が緑地指定されており、公園用途以外の道路拡張は難しいのが現状である。(考え方) ①本来該当地域をみると、緑化面積からも枝下用水から北側にかけて都市緑化部分を指定すべき。②北側5名の地権者の同意も南側の地権者と比較して交渉が容易。③都市緑化区域の除外検討を再度要望。④車道、歩道など一体的整備。

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

6	継続	朝日丘	基幹バス運行路線の新設/①小川・細谷町経由/②新生町経由/公共巡回バスの3路線	①豊田市駅～小川・細谷町～厚生病院経由 ②豊田市駅～新生町～厚生病院経由 ③主要公共施設(美術館・文化会館)経由の巡回バス路線新設。 (1) 都心部の交通渋滞緩和及び乗入れ抑制と環境モデル都市としての低炭素社会実現を図るための路線新設 (2) 核家族化による高齢者の福祉対策。
7	継続	朝日丘	小川町4丁目北側と豊田ダンボール倉庫東側間の狭隘道路改修	要望箇所は、普通乗用車1台分の余地しかなく、対向車はもちろん自転車との擦れ違いも出来ず、接触事故も起きている。また、緊急車両も通行困難で早急な対応が必要である。
8	継続	朝日丘	国道155号御幸3丁目交差点より南方面の道路拡張	R155号交差点から南方面道路(旧安城街道)は、朝夕の通勤車両が多い道路で、同時間帯は通学者も多く、歩道も設置されておらず、接触事故がふえている状況である。安全対策として歩道の設置、併せて道路拡張が必要である。暫定的に待機場所の設置が必要である。
9	継続	朝日丘	国道155号御幸3丁目交差点より土橋方面への右側部分の歩道の設置	R155号道路は、主要幹線道路で朝夕の通勤車両が多い道路で、形態も緩やかなカーブと下り坂のため、スピード制御が難しい。また、通学時間帯は児童や自転車などによる生徒の通学路のため、安全対策上早期改修が必要である。
10	継続	朝日丘	新生公園の早期実現・樹木公園の整備	震災時の第1時避難所として広域避難機能とともにスポーツ施設としての住区基幹公園として早期計画の実現が望まれる。この公園は計画構想から十数年が過ぎ、その後進展もなく土地所有者も市街化区域のため、固定資産税補填による土地利用もあり、民間利用などにより、虫食い状況である。そのため、公園計画自体に支障が生じる可能性が大である。あわせて樹木公園の考え方についても同様である。
11	新規	豊南	三河豊田駅前広場の改修	現在、愛知環状鉄道駅の三河豊田駅の駅前広場には噴水が設置されているが、年間を通して水は流されてなく、また多くの樹木があり、駅前広場としての機能を阻害している。交通結節点機能を高める駅前広場に改修を要望する。
12	継続	豊南	交番設置	豊南地区は、トヨタ自動車本社で地域が分断されており、豊田市のいう「中学校単位で一つ」という基準に合わない地域である。特に地域性に留意され、地域住民の安全安心のため、交番設置を強く望む。
13	継続	豊南	地域体育館整備	地域住民の健康福祉施策として要望する。特に豊南地区には河合池運動広場が整備されており、一体の整備を行えば、相乗効果もある。
14	新規	豊南	豊上橋拡張工事	平成25年大谷川工事完了に伴い、豊上橋拡張工事のための地盤調査した結果近隣の安藤様宅周辺で地盤変動の危険があるため中止になったが、平成27年2月安藤様の了解を得たので土木課へ再度工事着工を依頼。歩行者の安全確保、交通事故防止のため早期の完成を要望する。
15	継続	豊南	安永川改修事業に伴う公園整備等	安永川改修事業は、国県市事業であり、市街地の排水を一手に受ける河川事業である。この事業が完成すれば、地域の環境は大きく変わり、交通渋滞や違法駐車などが予想される。こうしたことを解消するため、明治用水と新安永川の区切られた区域を公園等に整備することによって、より安全安心な環境が整う。

○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

16	継続	豊南	明治用水耐震化工事に伴う暗渠化	平成26年度より明治用水耐震化工事が水源頭首より始められる。その説明によれば、人家のないところでは「開渠」で整備する方針のようだが、頭首工付近は、歩道が設置されておらず、交通量も多いため非常に危険である。「暗渠」にすれば、その上部を有効利用し、歩道など設置すれば、地域住民のみならず、多くの市民が利用できる。
17	継続	逢妻	柿本公園の整備再開／柿本町	都市公園として用地を取得し、地域住民のワークショップにより、設計も完了しているが、更地のまま何年も利用されていない。防災公園としての機能もあるので、投資効果が得られるよう、早急な整備再開を要望する。
18	新規	逢妻	頭本池の周回路整備／田中町	境川・猿渡川流域総合治水対策として頭本池流域貯留施設整備工事が進んでいる。近隣に住宅団地があり、現在新たな宅地開発も進んでいることから、頭本池の整備工事の一環として親水できる周回路の整備を要望する。
19	継続	逢妻	市道：本地柿本線の拡幅延長／柿本町	当該市道は、トヨタ元町工場の巨大駐車場の出入口があり、朝夕は慢性的な渋滞を起こしている。さらに大型小売店の開店、西BPの整備による転回禁止により通行量が増大している。平成26年度、柿本町3交差点から西に約80mの区間で拡幅工事が始まったが、そのさらに西にはタイヤメーカーの倉庫があり大型車両が往来するために、すれ違いができない状態である。その倉庫への進入口までの早期拡幅を要望する。
20	新規	逢妻	市道：東名側道北2号線の改良／本地町	当該市道は、美山小学校及び逢妻中学校の通学路に指定されているが、道路幅員が狭く、自動車のすれ違いができないばかりか、歩行者や自転車にとっても危険である。平成26年度に片側にある側溝に蓋が設置されたが、道路との段差があり危険な状態には変わりがない。拡幅も含めた抜本的な改良を要望する。
21	継続	逢妻	市道豊田西部線のみよし市との早期開通	みよし市三好ヶ丘より豊田市内への進入道路である市道福谷一色線は、交通量も多く幅員も狭く、小中高校生の通学路として、大変危険である。よって、市道豊田西部線：朝日町～大池町間のうち久岡町～三好ヶ丘間の早期開通が求められる。
22	新規	逢妻	小清水小学校図書室整備	現在、小清水小学校の生徒数は916名である。地域住民ボランティアによる「読み聞かせ活動」も活発に行われており、児童の読書意欲も向上している。しかし図書室については、1室のみであり児童の学習意欲に対応できていない。低学年・高学年用2室必要で、空き教室はあるが、対象本・陳列棚(耐震用)などが必要である。
23	新規	逢妻	県道宮上知立線通学路歩道整備	宮上町2丁目交差点から本新町1丁目までの歩道は、園児、小中高校生まで多くの子供が通学している。しかし、歩道の整備が遅れており、一部は幅50cmと極端に狭く、溝の蓋も劣化し転倒の危険もある。部分的でも早急の改修が求められる。
24	新規	逢妻	宮上公園駐車場整備	現在、宮上公園では、少年サッカークラブ、子供会フットサル、マレットゴルフなど広く利用されている。特にマレットゴルフ利用者は年間16,502人に登る。しかし、他の公園利用者との駐車場スペースの問題でトラブル等もあり、駐車場増設が急務である。
25	継続	逢妻	広久手町4丁目～5丁目の里道の市道認定と早期整備	平成19年以来2つの自治区からの要望している。幅員も境界も解決しているので早期の市道認定と整備を要望する。

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

26	新規	逢妻	吉路橋付近交差点改良と千足深田山線歩道整備	吉路橋付近交差点改良は通学路のたまり場がなくなり、非常に危険な交差点となった。たまり場の確保を要望する。千足深田山線、宮町本新線 本新田町線の歩道の整備も早期に要望する。
27	新規	逢妻	千足町5丁目～8丁目 市道高根越行者線の幅員	通勤の車で朝夕の交通量がかなり多い。道路幅が狭いため、相互通行ができず渋滞の要因となっている。早期に幅員の整備を要望する。
28	新規	逢妻	県道打越線 本地町7丁目交差点の改良	早朝、みよし方面より豊田市に向けて交通量が増える。渋滞の要因のひとつに、西から東に向かう車が、本地町7丁目の交差点を南に曲がる車で渋滞している。交差点右折車線の整備を要望する。
29	新規	逢妻	宮口神明堂線 歩道整備	汐見町の宮口神明堂線は、通学路であり交通量も多いため、歩道整備を要望する。農業用水路があり、その部分を利用した歩道の整備を要望します。土地改良との調整もできている。
30	新規	梅坪台	浄水地区 交番設置	浄水地区の区画整理事業が進み、人口が急増しており、さらに近隣地区の上豊田駅周辺のまちづくり事業も、いよいよ準備段階へと進む中、近隣に交番は無く、地域の治安維持のためにも交番設置を要望する。
31	新規	梅坪台	西山地区 交番設置	豊田刈谷線の整備も終了し、豊田南北バイパスや上豊田駅周辺のまちづくりの事業が進む中、さらなる人口増加が見込まれる地域であり、近隣に交番は無く、地域の治安維持のためにも交番設置を要望する。朝日小学校校門入口に豊田刈谷線の余剰地があり、ここに設置を要望する。

○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

【高橋地区】

1	継続	高橋	地域スポーツ体育館及びグラウンドの設置	中学校区に体育館及びグラウンドがなく、地域スポーツクラブが盛んな地域にとって必要性がある。 (中学校区に一つ必要)
2	継続	高橋	市道岩滝・百々線の延伸	平井小学校～県道細川線(平井こども園)までの延伸を要望する。
3	継続	高橋	県道中金～古瀬間線の拡充(県道松平志賀中金線拡幅)	矢並線～山中町間の通学路の確保のため拡充計画的着工の方向性を作成してほしい。
4	継続	美里	国道301号線整備(野見山拡幅)	主要道路である301号線の早期完成を要望する。
5	継続	美里	県道細川豊田線の拡幅・改修	長年要望を出しているが、道路整備が進んでいない。歩道がない区間もあり、生活道路、通学道路としても危険な状態であり、歩道整備を含めた拡幅・改修の整備を要望する。
6	新規	益富	古瀬間聖苑駐車場整備	既存の駐車場が満車になった時に、外の道まで駐車をしている現状であり、駐車場整備を要望する。

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

【上郷地区】

1	継続	上郷	榊塚東町地区計画の決定	愛知環状鉄道駅「北野榊塚駅」隣接地に民間による地区計画が計画されている。自治区長、自治区役員、地主等事業に前向きであり、早期着工を期待している。
2	継続	上郷	御手洗川の整備／畝部西町	県道から畝部こども園西側の御手洗川を暗渠化し緑道として活用することにより、園児の安全性も図られるため早期整備を要望する。
3	継続	上郷	畝部小学校搬入道路の整備	畝部小学校の周辺道路は、道幅が狭く大型バス、消防車(大型)の進入ができないため、早期の道路拡幅を要望する。(全自治区長要望書提出)
4	継続	上郷	市道広美榊塚線の整備／榊塚東町	①拡幅整備及び、市道のT字交差点の改良。 ②市道広美榊塚線と市道東榊塚東線を結ぶこと。 ③市道東榊塚東線を柳川瀬公園内道路と結ぶこと。
5	継続	上郷	愛環北野榊塚駅周辺整備	①駅ロータリーの設置 ②駐車場整備 ③駅周辺の道路整備
6	継続	上郷	高嶺こども園の改築／和会町	高嶺こども園は、本舎が昭和36年に建設され、50年目を迎えて市内で一番古い建物と言われている。また、平成18年にリースで建てられたプレハブ舎も、23年3月までの予定が延長となるなど、安全面からも不安である。待機児童の解消も含め、全面改築を強く要望する。
7	継続	上郷	猿渡川の堤防を2車線道路へ	猿渡川の整備と堤防整備に関連して、地域の長年要望である平針街道から地域文化広場に堤防道路拡張を要望し、道路沿いに工業団地、住宅用地の計画を希望する。
8	継続	上郷	榊塚西町自治区 公園の建設／榊塚西町	1, 100世帯、3, 200人の自治区に遊具のある公園が一箇所しかない。子どもたちの遊べる場所や地域の人たちの憩いの場所と大災害時の避難場所となる公園の建設を要望する。
9	継続	上郷	家下川の堤防の散策と上郷藪間公園との整備	家下川の藪間公園沿いで地元有志の努力により蛍が最近飛び交う状況であり、子供たちが水に触れることができるように整備を要望する。
10	継続	上郷	愛知環状鉄道の「三河上郷駅」のロータリー内の駐車場の整備と駅構内のエレベーター設置	「三河上郷駅」の駅前の駐車場が無料で使用できるため、すぐ満車となる。有料化または、駐車場を降車場として整備することを要望する。

○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

11	継続	上郷	和会町上屋敷の交差点改良／和会町	市道和会大林線の渋滞解消及び安全な通学路とするため、交差点改良を要望する。
12	継続	末野原	明治用水暗渠化と上部利用及び周辺整備(鴛鴨町他)	安城台地を潤すべく明治に開削された明治用水の上部利用については、広美町の三連水車下流で公園やウォーキング道の整備が進められてきたが、末野原地域の渡刈・鴛鴨・永覚の各自治区内は整備されていない。従って、国・県に働きかけて国営矢作川総合第2期地区の早期着手及び、地域要望を取り入れた上部利用及び周辺整備を要望する。
13	新規	末野原	永覚町の愛環永覚駅周辺整備及び周辺道路・通学路の一带整備	永覚駅の駅ロータリー設置・駐車場整備・駅周辺道路整備(駅南側道路は狭くて危険)による利便性向上及び、平子地区の児童の通学路・生活道路において平子橋北側の明治用水沿いの道路拡幅による安全対策、道路新設も考慮した周辺一帯整備を要望する。
14	継続	末野原	幸(隣松寺含む)町地内の排水路暗渠化による通学路・遊歩道整備	隣松寺から幸町に通じる、市道側溝及び排水路に蓋をして、通学路・遊歩道の設置を要望する。
15	継続	末野原	宝蔵川周辺の法面・護岸拡幅等工事による住宅地・田畑等の浸水防止他	渡刈町地内の宝蔵川周辺の急斜面法面の草刈り対策及び集中豪雨時の住宅地・田畑等の浸水防止の護岸拡幅等工事の実施を要望する。
16	継続	末野原	家下川の川幅拡張による、集中豪雨時の浸水防止対策	家下川と明治用水の交差する部分は川幅が狭く、集中豪雨時には排水できず上流の住宅地浸水が予想されるため、拡張工事を要望する。
17	継続	末野原	豊田市拳母南部地区に体育館の建設(末野原地区他)	企業収益の改善により、財政状況も好転の兆しを見せており、住民が早期に実現を希望している事業であるため、豊田市拳母南部地区に地域型スポーツ施設の整備として地域体育館の建設を要望する。
18	新規	末野原	永覚新町雇用促進住宅	永覚新町雇用促進住宅には、現在160戸中137戸で入居率は86%である。国は平成33年までに廃止したい旨を住民に説明している。多くの住民は65歳以上であり大変不安に思っている。市が施設を取得することを要望する。
19	継続	末野原	永覚新町 公園整備	永覚新町は公園が自治区内に一つもなく、自治区住民が触れ合える場所がないため早急な整備を要望する。
20	新規	末野原	県道本地鴛鴨線大林町12丁目交差点の建物撤去	県道本地鴛鴨線大林町12丁目交差点にある4軒の屋台の店舗は営業を行っている形跡がなく、建物も老朽化し、防犯上も問題があり、早期撤去を要望する。

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

【高岡地区】

1	新規	高岡	交番の移転と充実／ 若林東町	三河線複線高架化により若林駅周辺が整備され、居住人口が増加するのを期に若林交番の担当地区の変更と交番体制の充実(例えば、24時間365日の常駐・南部地区の拠点となる交番としての位置付け)などを行い、人の流れが多くなると予想される若林駅に交番を移転することを要望する。
2	継続	高岡	都市計画道路の事業化／ 若林西町 若林東町	地区内にある都市計画道路の早期事業化を要望する。 この地域には土地区画整理事業の計画が予定されているが、この辺りは以前より駅を中心に商業施設や学校等があるため人や車が多く集まってくる。 土地区画整理事業が始まるにしても、ここを利用するための流れを早期に整理する必要があると考える。
3	継続	高岡	旧平針街道 若林神社前交差点改良 及び 若林花園線の拡張／ 若林西町	若林神社前交差点は、北方面からの車の多くが右折し若園地区方面に向かったり、直進先に変形交差点(六辻交差点)があつたりするため渋滞が発生する。 大型貨物車の通行は禁止であるが、郵便局や飼料工場があり許可を受けた大型貨物車は通行をするため、交通の難所でもあり渋滞の発生源ともなっている。 先日、JA新店舗ができこれまで以上に近隣地区より車で人が集まる様になり、土地区画整理事業の事業化待ちでは遅く、事故等が発生する前に対応して頂きたい。 また、交差点には歩道橋もあるが子どもたちの通学路としては使われておらず、車等の視界の妨げとなっているため、撤去する必要があり、早期に整備を要望する。
4	継続	高岡	県道名古屋岡崎線・県道豊田一色線 渋滞対策 ／ 若林東町	この地域で交差する主要地方道路名古屋岡崎線、県道豊田一色線付近の道路渋滞が常に激しい。その結果、生活道路への車両流入が発生し近隣生活にも影響があるので対策を要望する。
5	新規	高岡	里道の市道認定と道路拡張／ 若林東町	この道路沿いには、竹元公園が新設されると共に、病院・住宅地の新設が計画されており、現在の道路幅では課題となることが予想されるので、市道認定と道路の拡張を要望する。
6	新規	竜神	県道:水源橋線改良工事完成記念イベントへの協力／曙～御幸本町	20年以上かかった県道:水源橋線改良工事が平成27年度完成予定である。関係する土橋・東田・緑ヶ丘・山之手・丸山・御幸本町の6自治体合同で完成イベントを計画している。そのイベント開催に当たっての支援協力を求める。
7	継続	竜神	県道:水源橋線の灌水対策	寿2丁目地内の県道:水源橋線は高低差により、時間降雨量が多いと慢性的に灌水し、平成26年度も灌水による故障車が発生するなど、通行に支障をきたしている。排水路整備や道路形態の改修等の改善策を要望する。
8	継続	竜神	東田区民会館前ふれあい広場の拡張／寿町	東田自治区は人口が増加しており、自治区内唯一の広場であるふれあい広場で行事を開催しているが、非常に手狭になってきている。 隣接する東側の民地が、現在は企業の駐車場として賃貸されているが、その民地をふれあい広場として、用地取得することを要望する。

○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

9	継続	竜神	市道：山の手64号線の拡幅用地の買収／寿町	当該市道の拡幅は、20年前、県道：水源橋線拡幅が計画された当時の計画であるが、県道拡幅の工事終了となる現在も用地の買収がなされていない。これは分譲マンションの地権者が多数であり合意が得られていないからであるが、市が責任を持って用地を買収することは当時の約束であるため、用地買収に向けて努力することを要望する。
10	新規	竜神	土橋公園内のマレットゴルフ場に隣接する東屋の増設	当公園内にあるマレットゴルフ場は、地域でしっかりと管理・運用され、高齢者クラブの会員相互の憩いの場として活用されている。現在は、ゴルフ場に隣接する場所に雨をしのげる東屋が1基あるものの、利用者の数に比べると収容力が足りず、公園の利用者の休憩場所、また天候の急変時の避難場所として、東屋の2基増設を要望する。
11	継続	竜神	清水町6丁目106-2付近～本町共和～本町本竜の特別養護老人ホームへ至る道路の市道認定、拡幅整備	現在は農道であるが、清水団地住民の生活道路として、特別養護老人ホーム・地域包括支援センター利用者の通行が増加したが、幅員が狭くすれ違いができず、どちらかが待機しなければならない。また、竜神中学校生徒の通学路に指定されているが、自転車と自動車のすれ違いにおいてもぎりぎりのため危険である。生活の利便性及び安全な通学の確保のため整備を要望する。
12	継続	竜神	市道竜神庚申塚線の拡幅整備	通行量が多いが幅員が少ないため乗用車のすれ違いに不自由している。雨水に洗われて路肩が掘れ、すれ違いでタイヤを落としてタイヤを損傷する車が依然として発生していると聞く。歩行通学と自転車通学とが共存しており、歩行者がいるときは自転車は狭い車道を通行しなければならない。安全な通学を確保するため、歩道も含めた拡幅整備は地域の長年に渡る要望である。
13	継続	竜神	竹町宮下40,41,43(約930㎡)緑地の用地買収	当緑地は豊田市市街地における緑の保全条例に基づき緑地に指定され、良好な管理によって保全緑地に認定されている。地権者は高齢(88歳)になったため予想される相続の負担から市に買い取り申請を準備している。 この緑地は以前、竹藪だったが2005年に「豊田市まちづくり助成金(8割補助)」を受け地元自治区等が2割の負担金を拠出し、地域のボランティアにより「竹町竹林公園」として整備された。 地権者と竹上自治区との覚書により「適切な維持管理」を条件に無償で地域に公園として提供され今日に至っている。地域のまちづくり活動の原点ともいえる緑地であるとともに、隣接の神社境内を除けばこの地域の既成市街地に残る唯一の緑地であり、市が用地取得することで恒久的な緑地として保全されることを地域住民が強く望んでいる。
14	新規	若園	(都)西岡吉原線 道路新設事業(名鉄三河線～県道豊田一色線)	①中根町集落のまちづくりを進める中で事業の推進を図られたい。 ②吉原町では、農地を斜めに計画決定されており、三角地が沢山残ってしまうため用地取得が困難であることから、その利用方法について協議しながら進めてほしい。時間が掛かることから、事前の協議を今から進められたい。
15	継続	若園	三河線連続立体交差化事業	中根町～若林東町の複線高架化の推進を図られたい。

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

16	継続	若園	若園交流館改築事業	若園交流館は若園地区の文化交流の拠点施設であり、地域住民の交流の場でもあるが、老朽化も進んでおり、早期の改築を要望する。H26に先進地の視察をしており、中学校との合築についても住民の理解度は上がって来ていると見ている。
17	継続	若園	若園中学校改築事業	若園中学校校舎の老朽化に伴い、早急な改築を要望する。
18	継続	若園	(都)花園八橋線 道路新設事業	現在用地取得中であり、継続して取組みを進めて行ってほしい。また、用地取得完了の部分から工事の着手をお願いしたい。同時に逢妻男川を横過する橋梁も並行して推進されたい。
19	継続	若園	(都)西岡吉原線 道路新設事業(R155～名鉄三河線)	現在(都)西岡吉原線の道路事業が進行中である。タイミングを図りながら着手されたい。
20	継続	若園	市道花園役場線 道路整備事業	工場の出入り口の問題を早急に解決し進捗を早め、継続事業として早期の完了を目指して進められたい。
21	継続	若園	市道中根下大切線 道路整備事業(歩道設置)	用地取得を短期間に進め、引き続き事業促進されたい。
22	継続	前林	小規模商業施設が誘致可能な農地転用緩和	地域核がなく商業施設が誘致できない地域であることから、高齢者が買い物に困難を生じている。周辺都市の施設を利用しなくても近くで買い物ができる施設を誘致できる土地利用の緩和が必要である。
23	継続	前林	交番の統合・誘致	当中学校区には交番が無く、エリアも後半であることから2つの交番の管轄となっており、同じ中学校区でも情報が共有できない状態である。また、女子高生殺害事件も解決していない。高速道路のインターを持つ当地区にはどうしても交番が必要である。
24	継続	前林	都市計画道路の早期着工	都市計画道路豊田刈谷線(本田～西岡間)、西岡吉原線(1工区、2工区)は都市計画決定してから長時間が経過しており、路線上に施設が建設されつつある。また、大型車両の通行で、地域の安全な道路整備が早期に必要である。
25	継続	前林	ため池の整備	当中学校区には農業用ため池が複数あるが、ヘドロで貯水容量が低下し、水質の悪化とゲリラ豪雨時における貯水量の低下による河川の氾濫が危惧される。早期の計画的浚渫及び環境整備が必要である。
26	継続	前林	高岡公園ソフトボール場の整備	高岡公園の利用が高まっており、ソフトボール場の早期完成が望まれるが、まだ用地の買収が一部残っている。合わせて、浸水地域の改修が必要である。早期の用地取得とグラウンド整備、浸水地区の改善が必要である。

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

【猿投地区】

1	継続	保見	保見マレットゴルフ場の36ホール化	地域要望の高い、現在のマレットゴルフ場の36ホール化を早期に実現されることを要望する。
2	継続	保見	伊保貝津線の早期延伸	現在貝津駅で止まっている伊保貝津線の東保見町への早期延伸を要望する。
3	継続	保見	篠原町地内の防災道路の新設	愛知環状鉄道沿いに防災道路の新設を要望する。東海豪雨の折、国道への出入りが寸断され孤立しているため、早期の実施を要望する。
4	継続	保見	田糲町内の市道新設	現在の市道(みよし市へつながる道路)は狭いため、非常に危険な道路となっている。みよし市より、トヨタスポーツセンター横を経由する道路の新設を要望する。
5	継続	猿投	加納～西中山の道路拡幅	本路線は地域の生活幹線道路であり、沿線には平成28年8月に高齢者福祉施設の開設が予定されている。平成26年度に測量設計等拡幅事業に着手していただきお礼申し上げますと共に早期の事業完了を要望する。
6	継続	猿投	舞木～乙部間の道路新設(第2工区)	本路線は、乙部ヶ丘団地から猿投中学校へ自転車通学生徒の安全を確保するため道路整備が進められており、昨年3月に舞木～本徳(第1工区)が完成しました。乙部ヶ丘からの通学生徒は現在165名(全生徒数300名)であり、平成30年度には280名(全生徒数450名)と推定されており、現在の通学路は幅員が1メートル程度と狭小であるため飽和状態であり、引き続き第2工区の早期完成及び完成までの間の安全対策を要望する。
7	継続	猿投	(仮)水辺ふれあいプラザ事業	本事業は、矢作川水系に生息する魚類が年々減少する中、これらを復元させ、子供たちに魚類の生息状況など生態の学習施設として計画された。用地取得は平成19・20年度に買収されましたが、具体的な整備内容、整備スケジュールは明らかにされていない。現在、約2ha土地を地元で管理しており、早期に今後の整備方針をまとめ地元との協議調整を要望する。
8	継続	猿投台	「民芸の森」整備事業	後期実践計画に反映をされたが、事業内容が後退した。同地区の今後のまちづくりの中核を担う事業であり、事業の更なる推進、並びに民芸の溪事業の具現化を要望する。
9	新規	猿投台	枝下町地内採掘現場修復と産業廃棄物不法投棄監視	枝下町地内の過度な砂利採取は、地域住民に不安感を増大させている。併せて、産業廃棄物の不法投棄も危惧される。管理監督は愛知県ではあるが、豊田市の立場からも愛知県に対して、一日も早い対応をするよう要望する。また、産業廃棄物の不法投棄にも監視の強化を要望する。
10	新規	猿投台	名鉄越戸駅のバリアフリー化推進	交通安全対策、高齢化対策、障がい者対策に対応するため、社会資本整備の一つとして越戸駅のバリアフリー対策を要望する。

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

11	新規	猿投台	勤八公園・前田公園整備推進	民芸の溪構想で予定のある同公園の早期事業化を要望する。具体には、勤八公園は昭和57年に都市公園に位置づけられているが事業がストップしている。また、前田公園は市民広場条例の位置づけであるが、都市公園と位置づけ、公園としての機能を高めてほしい。これにより民芸館、民芸の森との連携強化により集客が期待できる。
12	新規	猿投台	市道御船広瀬線の整備	同路線は、数十年前に市道認定されているが、整備が行われておらず、今後の防災、生活道路を確保する上からも早期の事業化が望まれる。
13	継続	石野	通学路の歩道の設置(自転車共用)	通学路の歩道の設置(自転車共用) 国道153号の勤八町勤八交差点から力石インター東交差点までの歩道整備、秋には香嵐溪方面への渋滞箇所で大変危険である。早急な整備を要望する。 (国交省から事業化連絡あり、継続して早期実施を要望)
14	継続	石野	石野中学校への進入道路の確保	石野中学校は、緊急時に市民の避難所として指定されているが、国道153号からの正門進入路に限られているため、災害により進入路が断たれた場合にも避難所の安全確保のため整備を要望する。
15	継続	井郷	マレットゴルフ競技場整備計画の再開	中断していた四郷下古屋自治区内の御嶽山から井郷中学校区内猿投運動公園周辺での設置整備の早期実現を要望する。
16	継続	井郷	布袋池(猿投運動公園内)と水無瀬川の水質保全確保と水辺・親水公園整備	昨年に引き続き水と緑のまちづくりのために布袋池(猿投運動公園内)と水無瀬川の水質保全確保と近自然化工法などによる水辺・親水公園化整備とそのための水源確保を要望する。
17	継続	井郷	豊田市運動公園までの名鉄延伸とパークアンドライド用駐車場の用地確保と整備	猿投駅は北の玄関鉄道駅として位置づけられているが、現在は学童始め鉄道で運動公園を訪れる人たちが、道なき道を迷いながら利用しているという状況である。その改善策と運動公園利用者を増やすためにも、名鉄の運動公園までの延伸と、パークアンドライド用駐車場の整備(駐車場用地の早期取得)を要望する。
18	継続	井郷	都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通 ①(都)猿投停車場線 ②(都)猿投学校通り線 ③(都)名古屋豊田線(県道) ④(都)御船花本線(県道) ⑤(都)豊田多治見線(国道) ⑥(仮)四郷貝津線 ⑦市道大釜鳥坂根線	豊田市北部の都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通は合併地区と旧市との交通網の整備確立や、北部における安全安心の生活環境整備、各公共施設・準公共施設・工業施設誘致施策等にも重要である。これらを踏まえた政策的な道路整備の推進を要望する。
19	新規	井郷	国道419号バイパスの早期着工	国道419号井郷地区(下古屋、天道)及び四郷駅周辺区画整理事業にて、下古屋地区の一部は整備されるが交差点改良を含む同地区の早期着工を要望する。

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

【松平地区】

1	継続	松平	松平地域体育館の設置	松平地区における体育館整備については、平成22年度策定の第2次・生涯スポーツプランにおいて「1地域1体育館の整備目標」と位置付けられ、計画期間内の整備を目指すとのことであるが、未だ計画が進んでいないため早期の建設を要望する。
2	新規	松平	松平地区観光案内所の改修	松平地区の観光地は歴史の郷「松平郷」を中心に、自然と渓谷美の王滝渓谷、史跡の大給城址等が広く市民の憩いの場として親しまれている。また、今年度は家康公没400年ということで、多くのイベントが企画・実施されており、これを契機に、今後、県内外より多くの観光客が見込まれる。観光客の増加に対応できるように、現在の松平郷内の観光案内所(休憩所)のバリアフリー化等の改修を要望する。

○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

【藤岡地区】

1	継続	藤岡	国道419号の改良整備(藤岡飯野交差点他)	藤岡飯野交差点をはじめとする国道419号は、周辺の住宅地や工場などへの交通集中により、朝夕に各所で慢性的な交通渋滞が発生し、市民生活に支障をきたしている。このため、事業着手された藤岡飯野交差点改良及び迫八反田交差点改良は交通の要衝であり、早期完成に向け集中的な整備を要望する。また、当該国道は小・中・高校生の通学路としての利用が多く、歩道の新設や拡幅などの早期整備を要望する。
2	継続	藤岡	市道藤岡飯野広瀬線改良整備	市道藤岡飯野広瀬線改良整備は歩道もなく、通学児童や高齢者が交通事故の危険にさらされている。また、グリーンクリーンふじの丘建設時の地元住民の約束条件であり、早期の改良整備を要望する。
3	継続	藤岡	新設市道の整備(北一色～迫～深見～西中山)	藤岡飯野交差点の慢性的な渋滞を回避するための新設道路を要望する。
4	継続	藤岡	県道大平折平線の拡幅整備(大岩町地内)	県道大平折平線の拡幅整備は県道でありながら幅員が3.5mしかなく、大岩町住民と隣接の小原地区大平町住民は、車の通行に大変苦勞している。さらに道路も屈曲部が多く通学児童や高齢者は交通事故の危険性にさらされているため早期の拡幅整備を要望する。
5	新規	藤岡南	藤岡南交流館の建替え	平成23年4月の藤岡南中学校開校に合わせ、既存の公共施設を転用して開館した。このため、必要な諸機能の不足・低下はもとより、築30年が経過することで建物本体の老朽化が目立っている。平成29年1月からの新成人を祝う会の単独開催がキャパ不足で開催できないなど、地域交流拠点としての機能不足が著しいため、早期の建替えを要望する。
6	継続	藤岡南	国道419号辻貝戸交差点改良	小・中学校生徒の通学安全確保するため、早期の改良を要望する。
7	継続	藤岡南	国道419号の通学路整備 深見町常楽交差点(西側)歩道設置	小・中学校の通学路の安全確保のため早期設置を要望する。
8	継続	藤岡南	藤岡南地区運動広場建設	藤岡南地区には運動広場がないため、早期建設を要望する。
9	継続	藤岡南	国道419号バイパスの早期着工	国道419号西中山町地内の渋滞緩和のため、早期着工を要望する。

○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

【小原地区】

1	新規	小原	旧老人憩いの家跡地の整備／永太郎町	施設跡地は国道沿いで小中学校にも近接しており、地区の少子化・過疎化の対策用地として好立地にある。定住促進と地域の活性化を図るため、分譲宅地等として整備を要望する。
2	継続	小原	四季の回廊整備事業の促進／永太郎町他	四季の回廊ミュージアム構想は、第7次総合計画に位置付けられ順次整備が進められている。この構想は、地域資源を活かした観光交流拠点施設の整備事業であり、地区の活性化に欠かせない。鳥屋平園地の整備とともに川見四季桜の里の継続整備、和紙のふるさとの施設更新・機能強化など、第8次総合計画への掲載と拠点施設の整備促進を要望する。
3	継続	小原	小原交流館設備の整備／永太郎町	小原交流館は、建築後25年が経過し、老朽化等による不具合が目立つ。特に小原歌舞伎の公演施設であるザ・小原座の音響設備の不具合や照明設備の作業時の危険性は、利用者に不便を強いている状況にある。当施設は生涯学習や地域活動の拠点施設としてだけでなく、地域の伝統文化を伝承する施設でもあるため、既存施設・設備の早期更新を要望する。
4	継続	小原	国道419号和紙のふるさと入口の交差点改良／永太郎町	国道419号と市道との取り付けが不整形であるうえに、観光施設である和紙のふるさとと小・中学校が隣接しているため、観光客の車と通学児童、生徒及び一般車両が交差することになる。また、通過車両の速度も速く危険な状況であることから、早期に交差点の改良を要望する。
5	継続	小原	市道小原赤羽根線の改良／苅萱町	苅萱町から、(主)県道土岐足助線に通じる市道小原赤羽根線は、唯一の生活道路、通学路であるにもかかわらず、平均幅員3.2mの狭小路線であり、車のすれ違いが困難で大変危険である。道路改良又は、交互通行を可能とする部分改良を要望する。

○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

【足助地区】

1	継続	足助	足助白山町・越田和町地内、埋立地の開発	足助白山町・越田和町地内埋立地(足助バイパス残土捨て場)の活用については、地質調査まで進んでいるが、具体的な計画にはいたっていない。豊田市としての開発計画の早期立案を要望する。
2	新規継続	足助	足助まちづくりプランの市計画としての位置づけと策定	足助の町並み整備は『まちづくり交付金事業』が完了し、一応の計画は終了している。しかしながら、リーマンショックによる予算の減額などにより、多くの課題が残されたままになっている。特に今年度は、『(仮称)おいでん山村プラン』の策定、『豊田市過疎地域自立促進計画』再立案など、中山間地域の計画づくりの重要な年である。前回の計画策定状況から勘案すると、『豊田市過疎地域自立促進計画』は地区ごとに計画を策定することが必要であり『足助まちづくりプラン』を併せて市計画として策定することを要望する。
3	継続	足助	足助支所新築の早期実現	足助支所の新築については、経済状況の悪化から延期されている状況にあるが、景気浮揚・市税収回復が実現された現状から、早急に計画の実行に着手していただきたい。
4	新規	足助	国際観光都市建設を視野に入れた観光資源の再整備	ラグビーW杯(2019)や東京オリンピック(2020)開催を視野に国際観光都市建設を目指す本市として(、前述の「足助の町並み整備」と併せ)、外国人観光客の誘客が可能な香嵐溪を始め本市の有力な観光資源の再整備計画の策定を要望する。 ・足助地区には、全国的な知名度を有する香嵐溪を始め魅力ある観光資源があり、国内外から多くの観光客が訪れ、本市の観光まちづくりに大きく貢献している。 ・近年、日本を訪れる外国人観光客の増加に伴い、足助地区においても中国人はじめ外国人観光客が増加傾向にある。 ・国家的ビッグイベント開催を視野に、本市の有力な観光資源を磨き上げる(再整備することにより、本市の世界的認知度、都市ブランドを向上させることが可能となる。 ・また、合併時の新市建設計画においては、「香嵐溪施設整備事業」(ライトアップ更新等)、「奥香嵐溪開発整備事業」、「香嵐溪アクセス歩道等整備事業」など、観光資源の整備が掲げられているが、一部を除いて計画化されていない。
5	継続	足助	学校跡地・老人ホーム跡地等の有効活用	旧足助町時代に活用されていた『西部中学校』(国谷町)、『老人ホーム跡地』(近岡町)の活用計画が、様々な要因で進捗していない。地元自治区に有意義な活用方法の早期実現を要望する。
6	継続	足助	旧いこいの村施設の再整備・再利用化	旧いこいの村愛知は足助町時代に、愛知県が閉鎖して以来、10年以上が経過しようとしている。足助地区では市有地として有益な場所であり、地域活性化のためにも、早期再整備・再利用化の計画策定を要望する。

○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

【下山地区】

1	継続	下山	県道作手善夫大沼線の改良整備／大沼町	<p>① 県道作手善夫大沼線は、下山地区の中央を東西に結ぶ主要路線である。未だ狭あい、カーブが急で危険箇所が多く冬季には事故も多い。安心安全な通行可能となる早期の改良整備を要望する。</p> <p>② 大沼町大畑地内における一部狭あい箇所は、車両のよけ合いが困難であり、危険である。地元住民、観光等に訪れる車の通行も多く、事故発生も懸念されるだけに、早期の改良整備を要望する。</p>
2	継続	下山	市道下山二本松名牛線(名牛集落側)、市道下山越田和ドドメキ線(越田和集落側)及びこの2路線を連結するバイパスの改良整備／大沼町	市道下山二本松名牛線及び市道下山越田和ドドメキ線は、地域と支所等の下山中心地区を結ぶ重要な路線である。しかし、急なカーブや狭あい危険箇所が多く住民生活や児童生徒の安全な通学に支障をきたしている。この2路線を結ぶバイパス部分を含めて一体的に整備することにより、飛躍的に利便性が向上し、定住促進にもつながるため、早期の改良整備を要望する。
3	継続	下山	主要地方道足助下山線の改良整備／大沼町	主要地方道足助下山線は、支所間を結ぶ重要路線である。基幹病院である足助病院通院の重要な路線であるにもかかわらず未だ多くの箇所が狭あい危険の多い道路である。本路線は、合併時に県事業として新市建設計画に策定されている道路であり、下山地区と足助地区の双方からの狭あい箇所解消に向けて早急な改良整備を要望する。
4	継続	下山	市道フタ瀬草木線道路舗装/羽布町	市道フタ瀬草木線(延長約8km)は三河湖左岸道路である。下山地区の賑わいづくり推進の核となる三河湖を周遊する観光道路である。ほとんどが未舗装であり、近年特有の豪雨で路盤浸食も激しく、交通事故等の危険性をはらんでいることから計画的な整備を要望する。
5	継続	下山	下山ウツキフ子切山線/花沢町・大沼町	県道「坂上花沢線」と県道「足助下山線」を接続する道路である。通学路であるが、狭あいの上にロイヤルカントリークラブ往復の通行車両が多く危険度が増していることもあり、早急な道路拡幅整備を要望する。

○豊田市議会議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

【旭地区】

1	新規	旭	旭交流館・旭支所駐車場の再整備	交流館事業や小渡を中心として観光まちづくりイベント時などに利用者及び来訪者駐車場が枯渇している。旭支所公用車駐車場の屋根など既存構造物等の解体撤去なども視野に入れ、収容台数増加のための駐車場再整備を要望する。
2	継続	旭	主要地方道豊田明智線の整備促進	旭地区内の主要地方道豊田明智線の浅谷町～須淵町間のバイパストンネル事業は、平成20年度から用地買収が始まっている。引き続き県と連携し、事業の進捗状況の見える化を含め早期実現に向けた迅速な事業促進を要望する。
3	継続	旭	旭地区県代行林道浅野線の舗装整備促進	平成26年度に整備事業完了した県代行林道浅野線について未舗装区間が大部分であるため舗装整備を要望する。
4	継続	旭	笹戸会館敷地内の不要公共施設の解体撤去	笹戸会館敷地内に昭和47年度に旧旭町が整備した稚蚕共同飼育所ほか、現在使用されていない老朽化の激しい建物があるが、笹戸会館の有効活用に支障が生じているため解体撤去を要望する。
5	新規	旭	旭地区の商店街、空き店舗活用、新規起業者等への支援	旭地区は、空き家の増加も課題であるが、商店街の空き店舗(旅館など)も増えている。一方で、それら空き家や空き店舗を活用して、新たに商売を目指そうと意欲のあるIターンの若者たちもいる。それらを支援できるような商業施策を要望する。

○豊田市議会豊田市議会 自民クラブ議員団 平成28年度当初予算への要望

【稲武地区】

1	新規	稲武	「重点」道の駅「どんぐりの里いなぶ」を核とした総合的なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・重点道の駅の整備を進めていくうえで、国に対して交付金・補助金の優先的支援を要望する。 ・市は、重点道の駅を核として、道の駅の機能拡張や周辺の整備を進め、併せて稲武地域全体のまちづくりを進めることを要望する。
2	継続	稲武	「自然エネルギーゾーン」の位置付けと整備	稲武地区の大井平公園に小水力発電施設が設置される予定。また、富永町・大野瀬町地内でも小水力発電施設の整備、面ノ木風力発電所の余剰発電による水素の製造と道の駅(防災拠点として)での活用が検討されている。中部電力の揚水発電所と併せて、稲武地区は全国に誇る環境学習ゾーンとなり、自然エネルギーゾーンの位置付けと環境モデル都市にふさわしい一体的整備を要望する。
3	新規	稲武	稲武地区の雇用の創出と定住の促進	人口の減少に歯止めがかからない中、特に14歳以下の人口の少なさは、小中学校の存続にも影響し、地域の将来に希望が持てない状況である。I、U、Jターンの一層の推進や流出の防止のため交流の拡大、住居の提供や雇用の創出・紹介が必要である。テレワーク、農林業の6次産業化、企業誘致など稲武地域に適した産業の振興を図ることを要望する。
4	継続	稲武	面ノ木園地・風力発電所周辺の一体的整備	面ノ木園地・風力発電所一帯は、天竜奥三河国定公園内にある本市の環境取組のシンボルであるとともに、貴重な自然・環境教育資源でもある。この素材を有効に活用して、地域発展に結び付くような観光誘客や子どもたちの環境教育の場とするため、管理道路や風車及び周辺の学習環境の整備を要望する。
5	新規	稲武	スポーツ合宿の環境整備	豊田市でのラグビーワールドカップ2019の開催が決まり、豊田スタジアムの芝生を育成している稲武地区は、標高300m～1,100mの地理条件で、真夏でも快適で、山の傾斜で心肺機能が鍛えられるなど、スポーツ合宿を推進する環境としては最適である。ワールドカップ2019開催を契機にキャンプ地としての整備及び、スポーツ合宿の誘致による地域活性を目指すための環境整備を要望する。